

CKD 検査教育入院と地域連携の意義

——医師、患者とも悔いのない治療を選択するためにすべきこと——

八田 告

平成 28 年 8 月 27～28 日/宮城県「第 43 回東北腎不全研究大会」

はじめに

最近、腎機能悪化のための紹介を受ける機会が増えている。しかし、紹介の受け手側である腎臓専門医の対応や専門病院でのシステムには格差がある。外来診察において、蛋白尿が持続し悪化していく症例を黙って診ているわけにはいかない。医療者として、患者、家族としても納得のいく方法はないだろうか？ 筆者が辿り着いたのが CKD 検査教育入院だ。本稿では、CKD 検査教育入院（以下、CKD 入院）をチームで実践し、その後の地域連携について紹介する。

1 腎不全進展抑制のために必要な CKD 入院

保存期腎不全期に医師、看護師、栄養士、薬剤師による包括的な CKD 入院により腎機能悪化抑制効果をもたらすことを報告した¹⁾。この入院は三つの目的がある。

- ① 増悪因子を解析し、今後の介入方法を検討すること
- ② 心血管合併症の早期発見
- ③ 適切な患者指導

2006 年から開始し、2016 年 6 月末で 1,300 例以上の経験を重ねている。もちろん、腎不全の悪化を抑制できない症例もある。しかしこの入院を実践することで、患者、家族、そして我々の納得のいく医療を展開できる。進行性の症例では、じっくりと腎代替療法を考える時間ともなる。一度は患者、家族と悔いのない取り組みを一緒にすることは、その後の医療者と患者関係

構築のうえで重要と考えている。

2 CKD 入院の効果

CKD 入院は腎機能悪化阻止効果以外に、以下の効果が期待できる可能性がある。

- ① 溢水による緊急入院が減少（カテーテル透析導入の減少）
- ② 無理のない継続した食事療法の確立（毎回畜尿検査実施）
- ③ 待機的な透析導入の増加、腹膜透析選択率の上昇（セルフケア向上の副次的効果）
- ④ スムーズな外来経過観察（CKD 入院した患者の外来診療はきわめてスムーズ→腎臓専門医の負担軽減）
- ⑤ チーム医療の充実（必然的にチーム医療力が向上する）
- ⑥ かかりつけ医からの強力な支持→リピーターかかりつけ医の存在→早期紹介の促進
- ⑦ 糖尿病性腎症の早期紹介

3 CKD 入院の課題

実践している医療現場としては、非常に役立っている。しかし、教育入院のエビデンスが乏しいこと、プログラムに一定の基準がないこと、入院ベッドの確保、十分な診療報酬が確保されていないなど、様々な問題があり、今後、腎臓学会などの関連学会で WG などを開催して議論していく必要がある。

4 CKD 入院を軸とした CKD 地域連携

CKD 入院した患者がかかりつけ医の診療に戻ると、外来診療がスムーズになることが多い。成功体験を得たかかりつけ医は、リピーターになる。双方のやりとりに CKD 地域連携パスが有効である。さらに、かかりつけ医とは症例ベースの勉強会が必要である。専門医の考え方、かかりつけ医の癖や性格の把握も必要と

思われる。そういった地道な努力が、専門医療機関に求められており、最終的に患者、家族の納得の医療に繋がると思われる。

文 献

- 1) 上野里紗, 八田 告, 他: 当院における保存期腎不全検査教育入院の効果. 日腎会誌 2013; 55(5): 956-965.

* * *

お 知 ら せ



平成 29 年度 透析療法従事職員研修のお知らせ

この研修は、透析療法に携わる方々を対象に、透析療法に関する研修を行い、腎不全医療の質の向上を目的としています。

平成 28 年度は、日本全国から 1,372 名の方々が受講され、現在まで延べ 42,487 名の方々が受けられています。

透析医療の第一線で活躍する講師陣による、現場に即したわかりやすい講義は、毎回参加者から大変好評を得ています。

1. 対 象 者：透析療法または CKD（慢性腎臓病）診療に携わる医師・看護師（准看護師を含む）・臨床工学技士・臨床検査技師・衛生検査技師・管理栄養士・栄養士・薬剤師
2. 講 義：日時 平成 29 年 7 月 8 日（土）・9 日（日）
場所 大宮ソニックシティ 大ホール他（埼玉県さいたま市）
3. 実 習：講義終了後、平成 29 年 12 月末日までに全国 182 の実習指定施設において所定のカリキュラムを行います。
（対象者：医師・看護師（准看護師を含む）・臨床工学技士）
4. 受講費用：A. 講義のみ 22,000 円（税込）
B. 講義+実習 22,000 円（税込）+実習料（※注）
実習生が実習指定施設（実施要領に記載）に所属している場合
C. 講義+実習+見学実習 22,000 円（税込）+見学実習料（※注）
※注 実習料・見学実習料は、講義受講後、実習または見学実習に際して、各実習指定施設へ直接お支払いいただきます。
5. 修 了 証：講義と実習（または見学実習）を修了した実習者には、修了証書を発行します。
6. 申込方法：平成 29 年 3 月 1 日付（予定）にて、主な透析医療施設長宛に発送する「実施要領」をご参照のうえ、研修申込書にて（公財）日本腎臓財団宛にお申込み下さい。（当財団 HP よりインターネットにて申込み、アップロードは平成 29 年 3 月上旬予定）
7. 申込締切：平成 29 年 5 月 8 日（月）
8. 後 援：厚生労働省
9. 問合せ先：（公財）日本腎臓財団 研修担当
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-1-11
TEL 03-3815-2989 FAX 03-3815-4988
URL <http://www.jinzouzaidan.or.jp/>